

●市立札幌病院「精神医療センター」の開設について

市立札幌病院では、平成 24 年 4 月 1 日に「精神医療センター」を開設します。

同センターは、市立札幌静療院の成人部門を市立札幌病院本院に移転統合し、救命救急センターや身体疾患の各診療科と連携することで、単科の精神科病院では対応が困難な、精神と身体疾患を併せ持つ患者に対応可能な医療機関として、開設されるものです。

包括的な医療の実現により、札幌市の急性期精神医療に貢献するとともに、一定の治療を終えた患者を地域の医療機関に引き継ぐ役割を担うことで、地域完結型医療を推進していきます。

1 施設の名称

市立札幌病院「精神医療センター」
(中央区北 11 条西 13 丁目)



2 開設日および診療開始日

開設日：平成 24 年 4 月 1 日 (日)
診療開始日：平成 24 年 4 月 3 日 (火)

※ 完全予約制。新患予約は現行どおりかかりつけ医からの紹介状が必要。

3 開設の背景と目的

(1) 背景

平成 15 年に有識者で構成される「市立札幌病院のあり方に関する懇話会」から「市立札幌病院は、本院で、身体的な疾患を併せ持つ精神科患者の対応を行うべき」との答申が出されことを踏まえ、本院への精神医療センター新設整備を進めてきた。

また、札幌市の精神科救急医療体制について、「札幌市精神保健福祉審議会」において検討が進められてきた中で、精神医療センターが精神科救急の一拠点として常時対応型救急医療施設の機能を担うことが期待されている。

(2) 目的

救命救急センターや身体疾患の各診療科と連携することで、単科の精神科医療機関では対応が困難な、精神と身体疾患を併せ持つ身体合併症の患者や、救急・急性期(病気のなり始めで比較的症状の激しい時期)の集中的な治療を要する精神疾患の患者の診療を行うなど、包括的医療を実現し、札幌市の急性期精神医療に貢献する。

4 診療の特徴

(1) 救命救急センターとの連携による、札幌圏精神科 3 次救急の患者(身体疾患を併せ持つ精神科救急の患者)の受け入れ

- ・ 生命的に一刻を争う危険状態の自殺企図で、背景に統合失調症など精神疾患が疑われ、早急に精神科治療の導入が必要とされるような症例については、救命救急センターでの身体管理を終了した後、精神医療センターで引き続き診療を行う。
- ・ 身体的に重篤な自殺企図で 1 次、2 次医療機関に搬入され、蘇生後に、精神的治療が必要とされる症例についても積極的に引き受ける。

(2) 市立札幌病院の各診療科との連携による、急性期の身体疾患を合併し、かつ精神科治療も積極的に行わなければならない患者の受け入れ

- ・ 精神疾患があり、肺炎、悪性腫瘍、重症糖尿病、骨折などの身体疾患を合併した患者や、身体疾患があり、急性期の精神疾患(認知症、せん妄、統合失調症、うつ病など)を合併した患者の診療などを行う。

- (3) 2次あるいは3次的精神科救急処置を要し、入院を必要とする患者の受け入れ
 2次救急：精神科病院で入院治療が必要な症状の患者
 3次救急：行動制限が必要な精神疾患患者および生命に危険な身体疾患を併せ持つ精神科的入院治療が必要な患者

5 地域完結型医療に向けた連携体制の構築

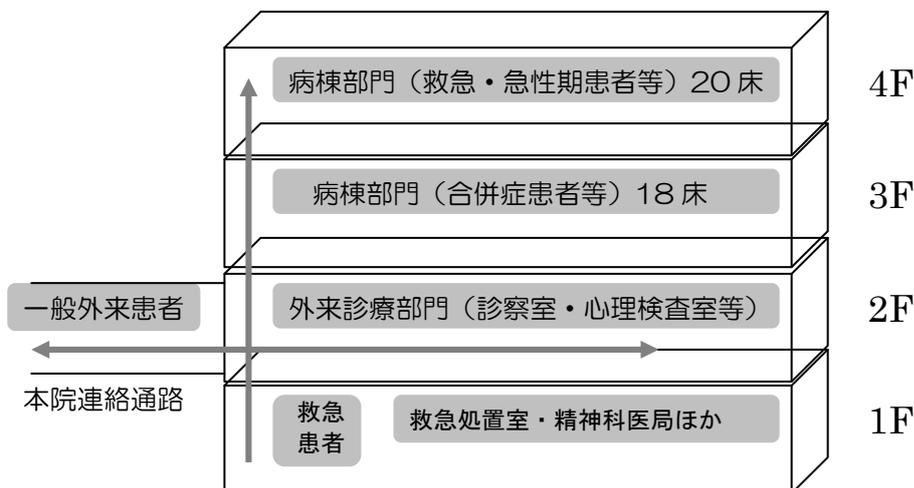
当センターで急性期治療を終えた患者については、札幌市内もしくは札幌圏内の連携医療機関へ紹介し、地域の医療機関へ引き継ぐことなどにより、地域完結型医療を推進していく。

6 精神医療センター施設概要

- (1) 竣工日 平成24年2月10日
 (2) 建設場所 札幌市中央区北11条西13丁目（市立札幌病院の増築）
 (3) 構造等 鉄筋コンクリート造および一部鉄骨造 地上4階建
 (4) アクセス JR「桑園駅」から徒歩3分
 (5) 建設費 約10億円
 (6) 建築面積 約854 m²
 (7) 延べ床面積 約3020 m²

7 病床規模および各階配置

- (1) 病床規模 総数38床（26室）
 (2) 内訳 個室で17床（内合併症ユニット8床、17室）、
 4床室で16床（4室）、
 保護室で5床（5室）
 (3) 新病棟の各階配置



8 報道機関向け内覧会

平成24年3月8日（木）午後1時15分から、報道機関向けの内覧会を行います。
 取材される場合は、午後0時45分から受け付けを開始しますので、市立札幌病院2階「講堂」にお集まりください。

問い合わせ先：病院局経営管理室経営管理部総務課 音喜多
 電話：代 726-2211